

# J R 四国労組 自動車支部 ニュース

2019年11月1日(N o 3 / 1)

発行責任者 / 大谷 清 編集責任者 / 幸 大

## 年末賞与交渉開始 組合員の奮闘を強く訴える!

J R 四国労組は本日、申第 9 号「2019 年度年末賞与の要求について」及び申第 10 号「2019 年度準組合員（契約社員）の年末賞与の要求について」の団体交渉を開催し、主旨説明を行った。

### 【申第 9 号】 「2019 年度年末賞与の要求」

- 1 要求額 基本給額の 3.0 カ月分
- 2 支払日 2019 年 12 月 6 日（金）

### 【申第 10 号】 「2019 年度準組合員（契約社員）の年末賞与の要求」

- 1 パートナー社員（定年退職再雇用者）
  - (1) 基準額 契約基本賃金の 3.0 カ月分

- 2 パートナー社員（月給・日給適用者）
  - (1) 基準額

調査期間内の勤務日数	運転係	構内係・点呼等	営業係・事務係
65 日以上 120 日未満	165,000 円	121,000 円	121,000 円
120 日以上	330,000 円	242,000 円	242,000 円

- 3 サポーター社員（時給適用者）
  - (1) 基準額

調査期間内の労働時間	支給額
240 時間以上 350 時間未満	58,000 円
350 時間以上 450 時間未満	77,000 円
450 時間以上 550 時間未満	102,000 円
550 時間以上 650 時間未満	117,000 円
650 時間以上 750 時間未満	137,000 円
750 時間以上 850 時間未満	158,000 円
850 時間以上 950 時間未満	176,000 円
950 時間以上	196,000 円

- 4 加算額 基準額該当者で契約更新が 3 回以上ある者は 5,000 円加算

- 5 支払日 2019 年 12 月 6 日（金）

# J R 四国労組 自動車支部 ニュース

2019年11月1日(N o 3 / 2 終)

発行責任者 / 大谷 清

編集責任者 / 幸 大

## 組合側要求主旨説明 (要旨)

- 組合員は、「安全・安心輸送の確立」を第一義に、収入の確保に向け日夜懸命に取り組んでいる。
- 会社を取り巻く環境は、他バス会社やLCCをはじめとする他交通機関との競争激化、軽油価格の変動など、先行き不透明な状況であるとの認識のもと、様々な施策に理解を示し、事業計画の共有化及び経営基盤の確立に向け、取り組みを推進してきた。今後も厳しい環境が想定されるが、労使一体となって取り組むというスタンスで責任組合としてしっかりとした運動を展開していく。
- 上期においては、大きな事故もなく組合員がそれぞれの持ち場で奮闘した。また、下期に向けて勤労意欲を高揚させるためにも、最大限の評価をすべきである。
- 消費増税により可処分所得が目減りし、組合員の生活実態は厳しさを増す中、年末賞与が生活費に占める割合が非常に大きいことから大変強い期待感がある。
- 準組合員のモチベーション向上のためにも加算額を支給すべきである。

## 会社側の考え方

貴労組組合員には、「安全・安心輸送」の取り組みをはじめ、接客サービス向上や経費節減施策等の協力に対し感謝する。

しかしながら、LCCの運航拡充や軽油価格の変動など、先行きについては不透明な環境が続いているため決して楽観できる状況ではない。

貴側の年末賞与に対する強い期待感、要求主旨は一定理解できるものの、会社の体力、不安定要素等も踏まえ鋭意検討したい。

## これに対し組合は

「組合員は日夜、「安全運行」を第一義に懸命に業務に取り組んでいる。その努力に報いるためにも誠意ある回答を求める」と強く訴え、交渉を継続することとした。

以 上